

令和六年度 大阪府立清水谷高等学校

第七十七回 卒業証書授与式 式辞

早春の日差しの中で正門の坂の桜や芝桜が蕾を蓄え、新しい季節の到来を感じるこの佳き日に、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、大阪府立清水谷高等学校令和六年度卒業証書授与式を挙行できますことは誠に慶びに堪えません。

只今、卒業証書を授与されました清水谷高等学校第七十七期、二百七十一名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。三年間立派に頑張りましたね。保護者の皆さまには、本日ご卒業の日をお迎えになられたお喜びは如何ばかりかと拝察します。

入学時は新型コロナウイルス感染症により、保護者は自由に校内にも入れないなど制約の多い教育環境でしたが、その後の急激な変化への対応を含め、特段のご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。有難うございました。

さて、卒業生の皆さん、明日から皆さんは高校の制服を着ることはありません。皆さんが入学した二〇二二年に改正施行された法律で成年年齢が十八歳になったことで、皆さんは高校卒業時には一人前の大人として自分の意志と判断で自由に

生きられるようになりました。もう親の同意なく自分の意志で住む場所や進路の決定、結婚や借入れ等の契約が出来ます。自由に生きることには実に素晴らしい。本日、卒業証書を渡した生徒の中には、ただ皆が行くからというだけで特段の目的も無いのに大学に進学するのは嫌だと、自分がしたいイルカの調教を学ぶために大阪を離れる女子生徒がいます。清水谷高校で演奏してきた子エロを磨くために音楽大学に進む生徒や、ピアノを極めようとする生徒がいます。コントラバスを続け

たいためにヨーロッパ留学が可能な大学へ進学をめざした生徒がいます。小中学校や高校の教員をめざす生徒や、看護師、薬剤師など医療の仕事をしたいと考えている生徒がいます。また、Ai開発やシステムエンジニアをめざす生徒もいる

でしよう。それぞれ素晴らしいと思います。一方で五十年前の私の様に、弁護士か裁判官になろうと思つて大学を受け、失敗と挫折の中から大学で新たな道を探す人もあるかも知れません。大学で何か見つけようと思つている人もあるでしょう。

時々私の頭に浮かぶ絵の中に、東京国立近代美術館にある北脇昇のクオ・ヴァ・デイスと絵画があります。二股に分かれた岐路で「どちらへ行こうか」と立ち竦んでいる人の後ろ姿が描かれています。人生は岐路の連続。私は二十世紀に銀行員で世界

を飛び回り、世紀が変わつて転職を四回して最後は高校の校長になりました。何度か岐路に立ち、片方を選び、別の人生を捨ててきた結果が、今の人生だと思つています。どちらが正解かでなく、選んだ方を正解にするように努力してきました。

私が捨てた選択肢を進んだ人の場合とその後を比べることはしません。自分と他人を比較するのは、嫉妬や羨望の原因になりネガティブな感情になると言われます。誰の人生も各人各様でオニリーワンのものです。比べる意味はありません。

一年ほど前に、大リーガー大谷翔平選手が通訳の不始末で賭博の関与を疑われ、メジャーリーグを永久追放されかねない危機や、睡眠不足により打撃不振に陥った際に、同僚のフリーマン選手が「自分もそうだったが、人生には辛い経験をすることがある。そういう時は支えてくれて頼れる人が必要だ。助けが必要ならここに頼れる人がいる」ということを伝えたかった。」と大谷選手の肩を抱いて話しかける二人の後ろ姿が一枚の写真と共に掲載されました。私は心が打たれ、泣きました。

そう、人生のもう一つの側面は誰も決して一人ではないということですよ。素晴らしい友達、良い家族があることは幸せの源泉です。その為には自分が日頃から自分の良心に従って誠実に人に接し、良い言葉を使うようにしましょう。怒りに任せて悪い言葉で人を責めたり、人を妬み羨やんだり、陥れようとしていると、段々そういう目つきになり人に信用されなくなり、表情豊かで笑顔の人は笑い皺が定着し魅力的な顔つきになります。「四十歳を過ぎたら自分の顔に責任を持って」とは

エイブルハム・リンカーンの言葉ですが、皆さんが二、三十年後の社会で自分の使命を果たして立派な顔つきで活躍していることを念じています。結びに、昨年ロンドンで初演となったミュージカル『Rosie the musical』で皆さんと同じZ世代の二十歳で主演を務めるルーシー・トーマスの『We can change the World』を紹介します。このミュージカルは、願いと夢、愛と忍耐、苦難と絶望、再生と希望の未来がテーマで、歌詞では「I sense a new beginning. A chance to build a brighter

future. To move beyond all that we once were. I believe we can change the world. 新たな始まり。明るい未来を築くチャンス。全ての過去を乗り越えて。私達が世界を変えられる。」と歌います。皆さんはきっと新たなより良い世界を創れます。

私は、皆さんの未来は夢と希望に満ちたものだと信じています。皆さんの幸せな人生を祈ります。令和七年二月二十八日

大阪府立清水谷高等学校

校長 日笠 賢